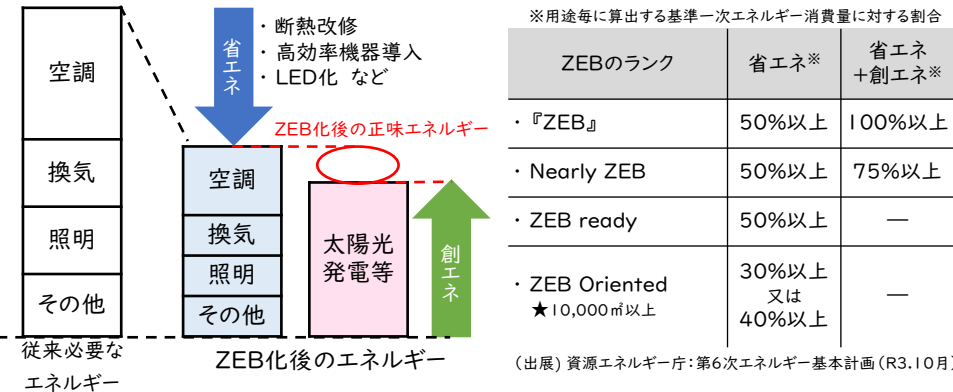


熊本連携中枢都市圏で2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを宣言（R2.1月）

○ ZEB (Net Zero Energy Building) とは

一定基準以上の省エネ・創エネ導入を図った建築物で、4段階に分類される。



○ 国目標・本市の取組

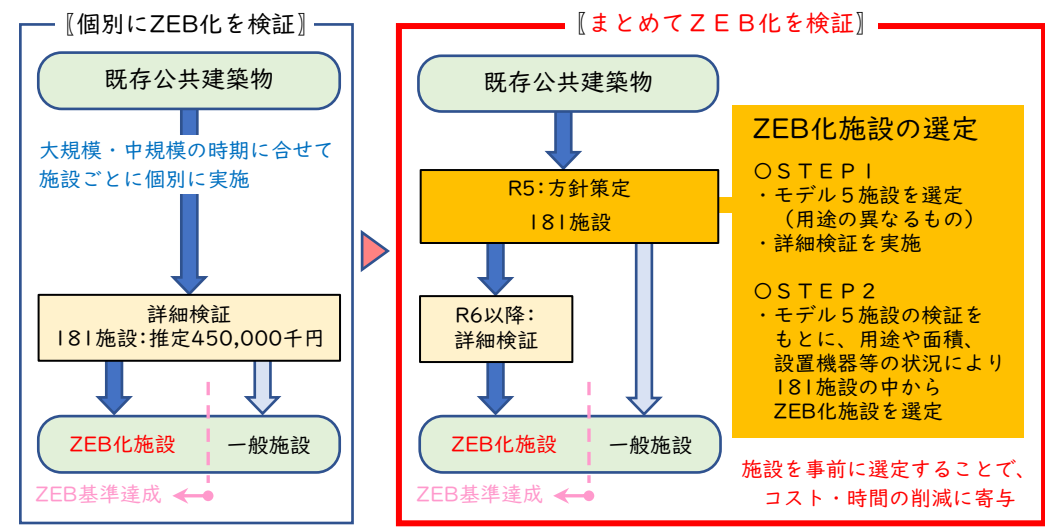
国目標	・新築…2030年以降は、ZEB基準の省エネ性能を確保	
	・既存…2050年にストック平均でZEB基準の省エネ性能を確保	
本市の取組	・本市計画での位置付け ※Net Zero Energy House:ZEBの住宅版	
	熊本市SDGs未来都市計画 (R4.3月改訂)	・市有施設における省エネ・創エネ・蓄エネの推進 ・住宅や事務所等の省エネ化、ZEH※・ZEB の導入の促進
	第4次熊本市環境総合計画 (R4.3月改訂)	・行政による率先した省エネルギーを推進 ・ZEH※やZEB の導入を促進
	・庁内検討(R4.6月庁内プロジェクトチーム設置)	
	基本的な考え: 既存公共建築物は、本市計画に基づき原則として省エネ化を図る(一般施設) 特に効果が見込める施設は積極的にZEB化を図る(ZEB化施設)	
	検討施設: 熊本市公共建築物長寿命化指針に基づく大・中規模改修を迎える施設(181施設)	
	チーム構成: 政策企画課 財政課 資産マネジメント課 温暖化・エネルギー対策室 住宅政策課 学校施設課 建築保全課(事務局)	

○ 既存公共建築物の効率的なZEB化推進

< 既存施設のZEB化の特徴 >

- ・用途や設備仕様等により効果(ランニングコスト低減)に差が生じる。
 - ・空調機更新等を伴う大規模・中規模改修工事に併せたZEB化工事が効率的。
 - ・ZEB化工事にあたっては、設計前に詳細検証を行う必要がある。
- | | |
|------|--|
| 詳細検証 | ・改修工事費用※とランニングコスト低減効果等を算出しZEB化の実施を判断する
※窓ガラス等の断熱性向上、空調方式や容量の見直し等を具体的に定め算定
・詳細検証費用は、3,000㎡で約300万円、1,000㎡未満で約200万円 |
|------|--|

< 効率的なZEB化推進>



○ ZEB化推進の流れ

